

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

落花岩（らっかがん、朝鮮語: 낙화암; ナックワアム）は、忠清南道扶餘郡扶蘇山にある岩である。1984年5月17日、忠清南道の文化財資料第110号に指定された。

概要

百濟の義慈王20年（660年）、羅・唐連合軍の攻撃で百濟の首都泗沘城が陥落した際、百濟の3千の宮女がここから白馬江（백마강、ペンマガン）に向かって身を投げたとの伝説に由來した岩である。

落花岩の絶壁は、1929年に、宮女たちを追慕するために六角形の『百花亭』亭子を建立した。下には宋時烈（1607年 - 1689年）揮毫と伝わる「落花岩」と彫刻された文字が刻まれている。^[1]

自殺した宮女についての内容が言及された最初の記録は一然の『三国遺事』卷1「太宗春秋公」条であるが、次のようである。

[百濟古記云『扶餘城北角有大岩、下臨江水、相傳云、義慈王與諸後宮知其未免、相謂曰“寧自盡、不死於他人手。”相率至此、投江而死、故俗云墮死岩。』斯乃俚諺之訛也。但宮人之墮死、義慈卒於唐、唐史有明文。]
百濟古記に云（いわ）く『扶餘城の北角に大岩有り、下江水に臨む、相い傳（つた）へて云く、義慈王と諸々（もろもろ）の後宮と其れ未だ免れざるを知り、相い謂（い）ひて曰く“寧（むし）ろ自盡（じじん）せんも、他人の手に死せず。”相い率（ひき）いて此（ここ）に至り、江に投じて死す、故に俗に墮死岩と云（い）う。』斯（こ）れ乃ち俚諺（りげん）の訛（か）なり。但（ただ）宮人の墮死せんも、義慈の唐に卒する、「唐史」に明文有り。

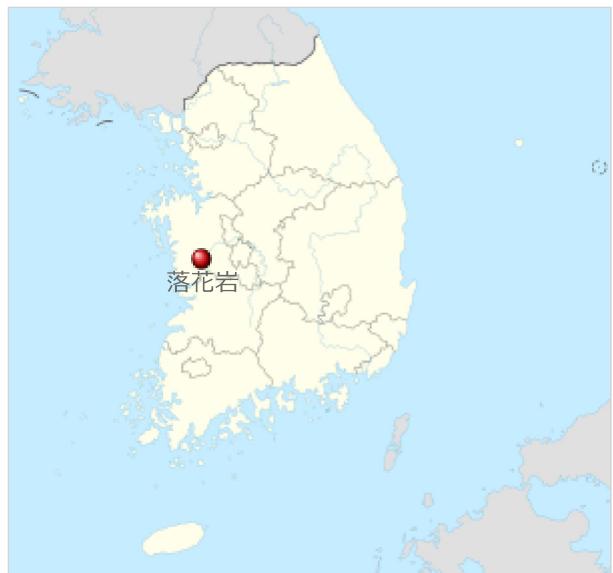
座標: 北緯36.292458度 東経126.91231度

落花岩

（忠清南道の文化財資料第110号）



落花岩から錦江を見下ろす



所在地

 大韓民国忠清南道扶餘郡扶餘邑双北里

大韓民国の地図を表示

忠清南道の地図を表示

全て見る

各種表記

ハングル :	낙화암
漢字 :	落花岩
発音 :	ナックワアム
日本語読み :	らっかがん
文化観光部2000年式 :	Nakhwaam

百濟古記に言う、『扶餘城北側の角に大きな岩があって、その下で江水に臨んでい
る所だが、伝えられる所、義慈王とさまざまな後宮は、禍を免れえないことを知
り、いっそ自殺しようとも他人の手に死なぬようにしよう。と言うや互いに連れだ
ち、江水に身を投げて死んだと言うことで、世間では墮死岩（タサ암; タサアム）と
呼ぶ』。これは俗説の訛伝である。宮女たちはそこから落ちて死んだであろうが、
義慈王が唐で死んだということは「唐史」に明白に記録されている。

『三国遺事』は実際、歴史とは異な
った伝説も含められており、当時の
宮闈跡をもって分析してみた結果と
しては3千名にもなる人員を収容する
ことができないという指摘もある。
その後、高麗時代に「落花岩」とい
う名が出てきて、安鼎福の『東史綱
目』卷2で「諸姫」と表現した^[2]。
「3千」という数を対象にした初めて
の言及は朝鮮初の金訴（김흔; キムフ
ン、1448年 - ?）が、「落花岩」とい
う詩で「三千の歌舞 砂に身をまかせ
て／花散り玉碎けるごとく水に随って行ってしまった（三千歌舞委沙塵 / 紅殘玉碎隨水逝）」と
詠んだのが最初だった^[3]。以後、尹昇漢（ウンスンハン）の小説『金庾信』（野談社、1941年）
で「3千宮女」との言葉を直接的に使用し、李弘植（イホンジク）が書いた『国史大事典』（知文
閣、1962年）の「落花岩」の項目で公的に書かれるようになった^[2]。結局、近代以前に「三千宮
女」を記録した歴史書は存在しない訳である。



落花岩の傍にある臯蘭寺に掲げられている宮女の投身を描いた
絵。

脚注

1. ^ (朝鮮語) 『충청남도 지정문화재 해설집 (忠清南道指定文化財解説集)』忠清南道、
2001年。
2. ^ a b (朝鮮語) 『한국사 새로 보기 (韓国史 読み直し)』 (初版2刷) 図書出版풀빛、ソウ
ル、2001年12月20日、52-60頁。ISBN 8974748703。
3. ^ 李徳一 (2006年11月9日). “[이덕일 사랑] 義慈王과 삼천궁녀 [[李徳一 愛] 義慈王と三千
宮女]” (<https://web.archive.org/web/20160305140300/http://www.chosun.com/editorials/news/200611/200611090544.html#>) (朝鮮語). 朝鮮ドットコム (chosun.com)
(朝鮮日報). オリジナル (<http://www.chosun.com/editorials/news/200611/200611090544.html>)の2016年3月5日時点におけるアーカイブ。2008年11月25日閲覧。

参考文献

- 落花岩 (http://www.cha.go.kr/korea/heritage/search/Culresult_Db_View.jsp?mc=NS_04_03_01&VdkVgwKey=31,01100000,34) - 大韓民国文化財庁国家文化遺産ポータル ※この文書には文化財庁からコンゴンヌリCategory 1として配布した国家文化遺産ポータルの内容を基礎に作成された文が含まれています。